

新型コロナウイルスに立ち向かっている 看護福祉学部卒業生・研究科修了生の皆様への 応援メッセージ



福井県立大学看護福祉学部教員一同



看護福祉学部長
研究科長
米田 誠

現在、福井県、日本そして世界は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機に面しております。

その中で、福井県立大学看護福祉学部を卒業あるいは研究科を修了された皆様の多くが、医療や福祉の前線で、新型コロナウイルス感染症と戦っています。教員を代表して深い敬意と感謝を申し上げます。また、今春、晴れて本学部を卒業し、医療や福祉の分野に巣立った教え子たちが、慣れない新しい環境の下で、感染症対策に直面していることに心を痛めております。

本学部としても、軽症者・回復期施設に看護教員を派遣し、支援させていただいております。

卒業生・修了生の皆様の健康と安全を何よりもお祈り申し上げます。一日も早く、新型コロナウイルス感染症が終息し、日常の日々が戻ることを教員一同切に願っております。



看護学科長
大川洋子

看護学科卒業生、看護学専攻修了生の皆様、看護師・保健師・助産師として医療機関や行政機関、養護教諭として学校等でご活躍のことと思います。

この2月・3月以降、日本における新型コロナウイルス感染症の拡大によって平時とは異なる緊張と責任感の中で働いておられることでしょう。看護学科は22年目の4月を迎えました。一期生はベテランとして責任ある立場でこの難局を乗り越えるべく、部署をけん引していることでしょう。また、この3月に卒業した人は新人看護師として働き始めたばかり。学位授与式が中止となり、皆さんを未来に送り出してあげられなかったことが残念でなりません。しかも入職したばかりにもかかわらず、通常とは異なる状況におかれ、さらに不安と緊張でいっぱいだと思います。ベテランも新人も目の前にある与えられた業務はあなたにしかできない事です。各方面から現場の看護師や保健師にエールが届き、誰からも尊敬されています。人々の命と健康を導く看護職であることに誇りをもち、一つ一つ丁寧に遂行してください。時には悲しくなるとき、疲れ切ってしまうときもあるでしょう。私たち教員は何も手を差し伸べることができない歯がゆさを感じています。しかし、皆さんの一人一人の力を信じ、敬意を表し応援しています。最後に、皆様のご健康を心からお祈りします。



社会福祉学科長
吉川 公章

保健・医療・福祉の現場ばかりでなく、行政機関や民間企業においても、新型コロナウイルス感染症への様々の厳しい対応を強いられる毎日を送られている卒業生の皆様に、心よりの敬意と感謝をお伝えいたします。

職場での疲労や緊張に加えて、日常生活においても、身体や気持ちが休まる時間をなかなか持ちづらい日々を過ごされていることと思います。

そんななかでも、明日に向かって、今、一歩を進めていこうとする皆さんに、私たちは精一杯の応援を続けます。

We Can Do It !